

勝林寺報

私のお念仏



中年ばあさん

「私のお念仏」という題で、何人かの方がそれぞれ有り難いことを寺報に書いてくださいました。とても私など足元にも及びません。しかし、今では、恥ずかしがつたり、口をつぐんだり、またてらつたりせんて、割合サラッと生きさせていただけるようになります。

私はまだ還暦まえなのに、この世の「しがらみ」から卒業いたしました。七年間看病した両親とも三〇代のとき別れましたし、夫とも七年まえ死別しました。人の男の子もつきついて親の元から巣立つて行つてしましました。今はこの家にわたくし一人です。淋しい悲しいも通り越しました。

愛したり憎りんだり、悩んだり悲しんだり。親子・夫婦・嫁舅、いろいろ複雑な人間関係に振り回されて生きて来たわたしの人生って、何だったのか。大勢の人との関係のなかで、なんでも自分を立てようとしてもがき続けて来ただけではなかつたのか。それが今ではとても空しく感じられます。六〇年。空しく過ごしたように思われます。

人との関係が次々に失われ、腹立つ事も悔しいと思うこともなくなつた今。私は何をどう生きたらしいのか。

私は思うのです。

人との関係、人と自分との関係、その間に起きた煩惱のなかだけに生きて来た私のいのちとは何とはかないことだったのかとこの頃思うのです。

沢山の人、沢山の物とのかかわりのなかで煩惱を燃やしながら生きるのではなくて、それらを超えて、それらをすべて包むもつと大きなもの、そこに気づいて、おおらかに明るく生きよと教えてくださったのが、ほれ、その、前坊守さまの教えてくださった「お念仏のうた」だと私は今になつて気づかせていただきました。それが今の「私のお念仏」です。

ムロ風233号

災害御見舞い



堤防決壊による家屋田畠の浸水や冠水。土砂流出による家屋倒壊。生活道路の決壊などによる交通遮断。その他電気・水道など生活ラインの断絶などなど。今次台風灾害はわたくしたちの生活の根底を搖るがしました。

被害に遭われた方々へこころからお見舞い申し上げます。

復旧には、まだまだ多大の日時と苦労が予想されます。

なにはともあれ御身第一においといふたまいますよう、衷心念じ申し上げます。

この災害から、いろいろな学びをさせて戴きました。

①、伊勢湾台風のときとの大きな違いは、全体に、助け合いの輪が育っていたと言うことではないか。社会福祉協議会などのボランティアグループが、すぐに炊き出し救援に動いてくださったし。水害後片付けにつけてくださっている。

②、反面、国の防災政策の冷淡さに驚かされた。人口密集地域外の砂防には手抜きがされており、その手抜き地域の堤防が今回決壊した。

③、うちの家、わたしの村の災害を避けるために、水路・溝・河川の水捌けを考えていたのではないか。河川全水流または流域全体の防災を考慮していたんだろうか。もし

そうだとすれば今次災害は、天災とばかりは言えないのではないか。④、熊や鹿が里に出てくる。山に食べ物がないから。一氣水が出る、洪水が起ころ。山や森に貯水能力が枯渇してしまったから。しかし、昔のような山に復活させるのはどうすればいいのか。途方にくれるばかり。今どき海外派兵などないのではないか。

こんなドキリとするような意見を聞きました。真剣に考えなければ、災害は繰り替えし来るのではと思いました。

十一月 霜月のことよみ

三日 光顯寺報恩講
四日 宗学院別科
五日 島根瑞泉寺三回忌法要
六日 高福寺報恩講(昼)
七日 立脇晃氏宅法事

十一日 別科 村岡高校
十二日 岸下 豊氏宅法事
鳥取妙円寺報恩講
区民のつどい

十三日 鳥取妙円寺報恩講
本覚寺報恩講
清掃奉仕

十五日 朗誦ボランティアあすなろ(編集)
福成寺報恩講
別科・職員会議
検診・予防注射

十四日 正福寺報恩講
西方寺報恩講
朗誦ボランティアあすなろ(編集)
福成寺報恩講
別科・職員会議
検診・予防注射

十五日 朗誦ボランティアあすなろ(編集)
福成寺報恩講
別科・職員会議
検診・予防注射

十六日 朗誦ボランティアあすなろ(編集)
福成寺報恩講
別科・職員会議
検診・予防注射

十七日 朗誦ボランティアあすなろ(編集)
福成寺報恩講
別科・職員会議
検診・予防注射

十八日 朗誦ボランティアあすなろ(編集)
福成寺報恩講
別科・職員会議
検診・予防注射

十九日 朗誦ボランティアあすなろ(編集)
福成寺報恩講
別科・職員会議
検診・予防注射

二十日 朗誦ボランティアあすなろ(編集)
福成寺報恩講
別科・職員会議
検診・予防注射

二十一日 朗誦ボランティアあすなろ(編集)
福成寺報恩講
別科・職員会議
検診・予防注射

二十二日 朗誦ボランティアあすなろ(編集)
福成寺報恩講
別科・職員会議
検診・予防注射

二十三日 朗誦ボランティアあすなろ(編集)
福成寺報恩講
別科・職員会議
検診・予防注射

二十四日 朗誦ボランティアあすなろ(編集)
福成寺報恩講
別科・職員会議
検診・予防注射

二十五日 朗誦ボランティアあすなろ(編集)
福成寺報恩講
別科・職員会議
検診・予防注射

二十六日 朗誦ボランティアあすなろ(編集)
福成寺報恩講
別科・職員会議
検診・予防注射

二十七日 朗誦ボランティアあすなろ(編集)
福成寺報恩講
別科・職員会議
検診・予防注射

二十八日 朗誦ボランティアあすなろ(編集)
福成寺報恩講
別科・職員会議
検診・予防注射

二十九日 朗誦ボランティアあすなろ(編集)
福成寺報恩講
別科・職員会議
検診・予防注射

三十日 朗誦ボランティアあすなろ(編集)
福成寺報恩講
別科・職員会議
検診・予防注射

(編集)

(水害復旧作業進捗状況により行事日程変更のこともあります。ご了解ください)

十月十二日	葬儀
十月四日	檀口 梅見
八十九歳	昇司様

十月十二日	出合
七十九歳	関川 宝男様

澤田 照夫様
七十七歳

十月二十二日	葬儀
奥小谷	

十月二十二日	出合
二十八日	関川 敏昭氏宅法事
二十九日	大屋安楽寺報恩講
三十日	奥栗雄報恩講

出石組『連研』(正福寺)
関川 永氏宅忌明法事
奥栗雄報恩講

出石組『連研』(正福寺)
関川 永氏宅忌明法事
奥栗雄報恩講

老いを生きる

「一宗の繁昌と申すは、人の多く集まり、威の大なることにてはなく候。一人なりとも人の信を取るが、一宗の繁昌に候」
(お寺さんの繁盛と言うことは、お参りの人があおおくて、いかにも威風堂々とした構えの寺が本物の寺ではありません。そうではなくて、たった一人でもいい本当にお念佛に生きる人がいてくださる、それがなによりのお寺の繁盛というのです)

この方が亡くなつたと聞いて、わたし最初に思い出したのは蓮如上人のこのお言葉です。

この方は、門徒総代も勤めてくださいましたし、また長年この村の寺のお世話役でもあります。

それはそれとして、もっと基本的に、この方は、本当の聞法者がありました。

寺では年間何回かの法座や集会がありますが、いつの法座にもこの方のお姿を見なかつたことは一度もありません。

いつも演台の真ん前にキチント正座して、お念佛申し申しご聴聞であります。いえ、お寺の本堂だけではありません、この村で勤まる家々の法事ご法座にも、招かれなくて必ずお参りして住職わたしの話を聞いてくださいました。念佛者・聞法者の本当の姿を、私は追慕させて戴いております。

と、もう一つ、この方からわたしが学んだこと。
それは「老いたもののその生き方」ということです。

老いるということは、いろいろなものを失うと言ふこと。今まで持つていていろいろなものが失われて行くという現実とその悲哀。

その次々に失われていく命の現実を、その日々を、それをどう生きて行くかということが古いの課題となつて参りました。わたくしもその課題を嫌でも考えねばならない八十歳になりました。

いろんな生き方をなさつていらっしゃいます。自分の天命・使命にしたがつて、命を賭して、最後の最後まで齋闋される方もお在りです。

歳が寄つて、人様から見放され相手にされなくなればなるほど、なにくそ、年は寄つてもお前らなんかに負けてなるものかとますます張り切つて生きようとなさる人。

お通夜での法話

かと思うと、世間からも孫子からも見放され馬鹿にされる年より。生きていても生けることがあります。ところがこの方は、連れ合いの奥様を亡くされてからますます、この三十年間。だれに頼らず、家事一切、農事一切、一人で切り盛りして、堂々と老いを生ききつて来られました。老いを、一人でそのままおに受け入れて、老いを生き切つた方でした。

しかもこの方の魅力は、自分のその生き方を、若い者にも人様にも、けつして教えており押し付けたりお説教したりはしませんでした。

ただ一人で、老いと病を引き受け、ただお念佛して生ききつたそういう方であつたと思

います。親鸞様が、「親鸞におきてはただ念佛して弥陀にたすけられ参らすべし」と、よきひと法然様の仰せをこうむりて信ずるほかに別の子細なきなり」(歎異鈔)

そんな晩年の聖人のお姿も思い合わされ、かくありたい念佛者の老いの生き方を、この方のお姿に、わたしは学んで行きたいと願うことあります。

おみかき

清掃奉仕

11月14日(日)

境内除草清掃
仏具おみがき

報恩講まえに 清掃・おみがき奉仕を行います。
ご都合のつく方はご参加ご協力ください。

勝林寺佛教青年会会長
永井 孝一郎
勝林寺佛教婦人会会長
大石 正代

報恩講

「講」。木扁の「構」は木を交互に組み合わせて家を構築する形。言扁の「講」は、いろんな人がいろいろな思いを語り合い聞き合つて、よろこびを共有することです。蓮如さまは「寄り合い・談合」するなかで「信心歡喜」することをお勧めになりました。

昔、寺のお講にはみんな本堂で泊まって語り合いました。家庭の報恩講には親戚村人寄つて来てご法座があり、思いのありつけを語り明かしたものでした。

「報」は「むくる」。「むきなおる」「むきをかえて顧みる」ことです。

「恩」。「いのちをさえているもど」(わたしのこのいのち何に支えられているのか)。それを振り返つて見ることです。

カタンニユイ。お釈迦さまの国ふるい言葉です。(成されたものを知る)。やはり、私たしのこのいのち何に支えられているのか)。それを振り返つて見ることです。

振り返ることでした。すぐには思ひ浮かぶのは、親の御恩です。それを含めて、無量のいのちと不思議な光りに願われていたわたしであつたと知らされます。

その「まことの喜び」(信心歡喜)に生き返る。これを往生淨土と言うのでしようか。

忙しくなつて、すべて簡略になりました。

しかし、忙しくなつたからといって「心」を「亡」くしては生きる意味はありません。

一年に一度です。お寺のご法座に逢つてく

ださい。

家庭の報恩講。こうして丁寧に勤めましょ

う。

寺の報恩講は

十一月二十一日 伝鈔 七時

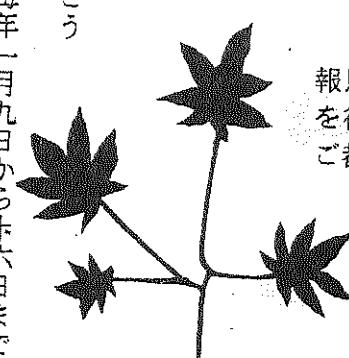
おつとめ 八時

ご法話 内田 宏円先生

十一月二十二日 朝十時 おつとめ

ご法話 内田 宏円先生

おつとめ



総講 そうこう

ご本山では毎年一月九日から十六日までの一週間、浄土真宗の開山親鸞聖人のご命日法要として「御正己心報恩講」(七昼夜・おひつちゅうや)が勤まります。全国の門信徒がこぞつてお参りしたものです。

本山の御正己心報恩講にお参りするには、寺や門徒の報恩講は、前以てお勤めしなければなりません。ですから 前年の冬に「おわ取り越し」として各寺・各家の報恩講をお勤めしました。

各家庭でお勤めしたうえに、村で全員うち揃つて盛大に報恩講を勤めました。「そ

ねこ」(ねこ) と言うのは、村総出の報恩講という意味でしょうか。また惣村単位の報恩講と言うことであったのでしょうか。

現在でもその伝統を大切に守っている部落が勝林寺ご門徒のうちにいくつかあります。

昔、年一度の「そこう」に、村の老若男女みんな打ち揃つてお正信偈をあげ、お斎(おさき)のいろいろな御馳走をいたいたい懐かしい思い出を、大切に孫子まで伝えたいもので

す。

自分の天命・使命にしたがつて、命を賭して、最後の最後まで齋闋される方もお在りです。

歳が寄つて、人様から見放され相手にされなくなればなるほど、なにくそ、年は寄つてもお前らなんかに負けてなるものかとますます張り切つて生きようとなさる人。

お通夜での法話

かと思うと、世間からも孫子からも見放され馬鹿にされる年より。生きていても生けることがあります。ところがこの方は、連れ合いの奥様を亡くされてからますます、この三十年間。だれに頼らず、家事一切、農事一切、一人で切り盛りして、堂々と老いを生ききつて来られました。老いを、一人でそのままおに受け入れて、老いを生き切つた方でした。

しかもこの方の魅力は、自分のその生き方を、若い者にも人様にも、けつして教えており押し付けたりお説教したりはしませんでした。

ただ一人で、老いと病を引き受け、ただお念佛して生ききつたそういう方であつたと思

います。親鸞様が、「親鸞におきてはただ念佛して弥陀にたすけられ参らすべし」と、よきひと法然様の仰せをこうむりて信ずるほかに別の子細なきなり」(歎異鈔)

そんな晩年の聖人のお姿も思い合わされ、かくありたい念佛者の老いの生き方を、この方のお姿に、わたしは学んで行きたいと願うことあります。

おみかき

清掃奉仕

11月14日(日)

境内除草清掃
仏具おみがき

報恩講まえに 清掃・おみがき奉仕を行います。

ご都合のつく方はご参加ご協力ください。

勝林寺佛教青年会会長
永井 孝一郎
勝林寺佛教婦人会会長
大石 正代

かと思うと、世間からも孫子からも見放され馬鹿にされる年より。生きていても生けることがあります。ところがこの方は、連れ合いの奥様を亡くされてからますます、この三十年間。だれに頼らず、家事一切、農事一切、一人で切り盛りして、堂々と老いを生ききつて来られました。老いを、一人でそのままおに受け入れて、老いを生き切つた方でした。

しかもこの方の魅力は、自分のその生き方を、若い者にも人様にも、けつして教えており押し付けたりお説教したりはしませんでした。

ただ一人で、老いと病を引き受け、ただお念佛して生ききつたそういう方であつたと思

います。親鸞様が、「親鸞におきてはただ念佛して弥陀にたすけられ参らすべし」と、よきひと法然様の仰せをこうむりて信ずるほかに別の子細なきなり」(歎異鈔)

そんな晩年の聖人のお姿も思い合わされ、かくありたい念佛者の老いの生き方を、この方のお姿に、わたしは学んで行きたいと願うことあります。

おみかき

清掃奉仕

11月14日(日)

境内除草清掃
仏具おみがき

報恩講まえに 清掃・おみがき奉仕を行います。

ご都合のつく方はご参加ご協力ください。

勝林寺佛教青年会会長
永井 孝一郎
勝林寺佛教婦人会会長
大石 正代

かと思うと、世間からも孫子からも見放され馬鹿にされる年より。生きていても生けることがあります。ところがこの方は、連れ合いの奥様を亡くされてからますます、この三十年間。だれに頼らず、家事一切、農事一切、一人で切り盛りして、堂々と老いを生ききつて来られました。老いを、一人でそのままおに受け入れて、老いを生き切つた方でした。

しかもこの方の魅力は、自分のその生き方を、若い者にも人様にも、けつして教えており押し付けたりお説教したりはしませんでした。

ただ一人で、老いと病を引き受け、ただお念佛して生ききつたそういう方であつたと思

います。親鸞様が、「親鸞におきてはただ念佛して弥陀にたすけられ参らすべし」と、よきひと法然様の仰せをこうむりて信ずるほかに別の子細なきなり」(歎異鈔)

そんな晩年の聖人のお姿も思い合わされ、かくありたい念佛者の老いの生き方を、この方のお姿に、わたしは学んで行きたいと願うことあります。

おみかき

清掃奉仕

11月14日(日)

境内除草清掃
仏具おみがき

報恩講まえに 清掃・おみがき奉仕を行います。

ご都合のつく方はご参加ご協力ください。

勝林寺佛教青年会会長
永井 孝一郎
勝林寺佛教婦人会会長
大石 正代

かと思うと、世間からも孫子からも見放され馬鹿にされる年より。生きていても生けることがあります。ところがこの方は、連れ合いの奥様を亡くされてからますます、この三十年間。だれに頼らず、家事一切、農事一切、一人で切り盛りして、堂々と老いを生ききつて来られました。老いを、一人でそのままおに受け入れて、老いを生き切つた方でした。

しかもこの方の魅力は、自分のその生き方を、若い者にも人様にも、けつして教えており押し付けたりお説教したりはしませんでした。

ただ一人で、老いと病を引き受け、ただお念佛して生ききつたそういう方であつたと思

います。親鸞様が、「親鸞におきてはただ念佛して弥陀にたすけられ参らすべし」と、よきひと法然様の仰せをこうむりて信ずるほかに別の子細なきなり」(歎異鈔)

そんな晩年の聖人のお姿も思い合わされ、かくありたい念佛者の老いの生き方を、この方のお姿に、わたしは学んで行きたいと願うことあります。

おみかき

清掃奉仕

11月14日(日)

境内除草清掃
仏具おみがき

報恩講まえに 清掃・おみがき奉仕を行います。

ご都合のつく方はご参加ご協力ください。

勝林寺佛教青年会会長
永井 孝一郎
勝林寺佛教婦人会会長
大石 正代

かと思うと、世間からも孫子からも見放され馬鹿にされる年より。生きていても生けることがあります。ところがこの方は、連れ合いの奥様を亡くされてからますます、この三十年間。だれに頼らず、家事一切、農事一切、一人で切り盛りして、堂々と老いを生ききつて来られました。老いを、一人でそのままおに受け入れて、老いを生き切つた方でした。

しかもこの方の魅力は、自分のその生き方を、若い者にも人様にも、けつして教えており押し付けたりお説教したりはしませんでした。

ただ一人で、老いと病を引き受け、ただお念佛して生ききつたそういう方であつたと思

います。親鸞様が、「親鸞におきてはただ念佛して弥陀にたすけられ参らすべし」と、よきひと法然様の仰せをこうむりて信ずるほかに別の子細なきなり」(歎異鈔)

そんな晩年の聖人のお姿も思い合わされ、かくありたい念佛者の老いの生き方を、この方のお姿に、わたしは学んで行きたいと願うことあります。

おみかき

清掃奉仕

11月14日(日)

境内除草清掃
仏具おみがき

報恩講まえに 清掃・おみがき奉仕を行います。

ご都合のつく方はご参加ご協力ください。

勝林寺佛教青年会会長
永井 孝一郎
勝林寺佛教婦人会会長
大石 正代

かと思うと、世間からも孫子からも見放され馬鹿にされる年より。生きていても生けることがあります。ところがこの方は、連れ合いの奥様を亡くされてからますます、この三十年間。だれに頼らず、家事一切、農事一切、一人で切り盛りして、堂々と老いを生ききつて来られました。老いを、一人でそのままおに受け入れて、老いを生き切つた方でした。

しかもこの方の魅力は、自分のその生き方を、若い者にも人様にも、けつして教えており押し付けたりお説教したりはしませんでした。

ただ一人で、老いと病を引き受け、ただお念佛して生ききつたそういう方であつたと思

います。親鸞様が、「親鸞におきてはただ念佛して弥陀にたすけられ参らすべし」と、よきひと法然様の仰せをこうむりて信ずるほかに別の子細なきなり」(歎異鈔)

そんな晩年の聖人のお姿も思い合わされ、かくありたい念佛者の老いの生き方を、この方のお姿に、わたしは学んで行きたいと願うことあります。

おみかき

清掃奉仕

11月14日(日)

境内除草清掃
仏具おみがき

報恩講まえに 清掃・おみがき奉仕を行います。

ご都合のつく方はご参加ご協力ください。

勝林寺佛教青年会会長
永井 孝一郎
勝林寺佛教婦人会会長
大石 正代

かと思うと、世間からも孫子からも見放され馬鹿にされる年より。生きていても生けることがあります。ところがこの方は、連れ合いの奥様を亡くされてからますます、この三十年間。だれに頼らず、家事一切、農事一切、一人で切り盛りして、堂々と老いを生ききつて来られました。老いを、一人でそのままおに受け入れて、老いを生き切つた方でした。

しかもこの方の魅力は、自分のその生き方を、若い者にも人様にも、けつして教えており押し付けたりお説教したりはしませんでした。

ただ一人で、老いと病を引き受け、ただお念佛して生ききつたそういう方であつたと思

います。親鸞様が、「親鸞におきてはただ念佛して弥陀にたすけられ参らすべし」と、よきひと法然様の仰せをこうむりて信ずるほかに別の子細なきなり」(歎異鈔)

そんな晩年の聖人のお姿も思い合わされ、かくありたい念佛者の老いの生き方を、この方のお姿に、わたしは学んで行きたいと願うことあります。

おみかき

清掃奉仕